低年齢化などが進み、多様化しています。地域、市民・企業など連携機能を充実させていきます。

○交通安全

交通事故から市民を守るため、効果的な交通安全の強化を図ります。また、冬期間などをふくめた道路環境の整備など総合的な交通安全対策を進めます。

(3)快適な冬づくり

○利雪・克雪

市街地区の高度密集、高齢者世帯の増加などに対応するため、融雪溝や雪捨て場の整備、融雪槽など、効率的な克雪が必要です。また、冬期スポーツ・文化など北の生活、文化構築など総合的な展開が必要です。

知恵を発揮する「創造都市」をつくるために ―産業振興計画―

(1)需要を創造する農業づくり

○農業

消費者の安全・健康志向、環境問題、そして新食糧法の施行は流通・消費の多様化に対応した国際化時代にふさわしい農業の確立を求めています。安全で良質な農産物の生産、新産品や地物産品の加工商品開発などを進め、他の業種との連携から雇用が図られるよう努めていかなければなりません。

これからの農業は魅力と活力ある農業地域の形成と新たな消費者ニーズの需要を創造することが必要です。

(2)力強く育てる林業づくり

○林業

森林は、木材の供給や国土保全、水資源のかん養など重要なものです。安らぎと潤いをもたらす生活環境の一部として、また、生産性の高い林業経営を図るため力強く育てる林業づくりをすすめます。

(3)視野を広げた水産業づくり

○水産業

資源管理型漁業を積極的に推進し、栽培漁業の総合的な展開を図り、消費者の多様なニーズにこたえることのできる水産業づくりを進めます。

(4)知恵が形になる工業づくり

○水産加工業

食料品製造業を主体とする本市の工業は、地域の経済や雇用に大きな役割を果たしていますが、近年の国内外製品との競争や価格の低迷などにより厳しい環境におかれています。基幹産業のひとつである水産加工業は、重要な地域産業として、技術力の向上、人材の確保・育成、販路開拓やあらたな製品、サービスの開発につとめなければなりません。

(5)市民が盛(さか)る商業づくり

○商業

「地域の顔」とも言える商店街、商業。そのイメージアップ、機能・快適性の向上を図り、集客力を増加させ、あらたなまちづくりの核としていきます。「人へのやさしさ」、「文化性の付与」、「情報化」、「環境へのやさしさ」などをキーワードとしたあらたな経営手法の導入が必要です。

(6)浪漫と雄大さの観光づくり

○観光

恵まれた自然景観、文化財を保全・保護しながら、あらたな観光資源を発掘・活用し、自然、文化、佐賀家漁場の保全と活用をはじめとする歴史的資源を連携させた観光拠点や周辺整備に努め、また、土産品の開発などによる産業振興と、観光行事などの充実やPRに努め、地域ぐるみの観光づくりをめざします。

(7)暖かく心かようサービス業と中小企業対策

○サービス業

情報・通信や環境問題、保健・福祉などの分野を中心に、あらたなサービス需要が拡大しています。ゆとりと豊さが実感できる生活の実現、産業の発展を支える生活支援サービス業や産業支援サービス業などの一層の発展が求められています。

○中小企業対策

対岸貿易の積極的な展開など、その活力を発揮するためには、人的資源の活性化を図り、新たな技術開発への対応と情報基盤の整備促進が求められています。

留萌の特性を生かした企業誘致や各種の起業活動の支援、制度化の検討を図ります。

(8)働いて楽しく生活する労働雇用と消費生活づくり

○労働雇用

若年層の減少が続いていることから労働環境の拡大や労働福祉制度の充実を図り魅力ある雇用の場の創出と活発な求人活動により若手労働者の確保に努めること、また、女性の社会進出、高齢社会、障害者の雇用などに対応した雇用環境の整備など図らなければいけません。

○消費生活

市民が安心し、安全で豊な消費生活を実現するためには、暮らしを取りまく、安全・環境・資源・物価などに配慮した消費生活情報の収集・提供、主体的な消費者の育成が求められています。

幸福を共有する「健康都市」をつくるために ―健康福祉都市―

(1)健康で生きる喜びの保障

○健康

ガンや循環器疾患などの成人病の増加、本格的な高齢化の進展に対応し、疾病の早期発見から、発生予防・健康増進に努め、地域に密着した保健医療体制の充実に努めます。

生涯を通じた健康づくりのために、保健センターを拠点に、老人保健・母子保健・成人病予防などの各種保健事業や機能回復訓練を計画的かつ効果的に進めます。

○医療

高度化、専門化した医療需要に対処できる地域の中核的医療機関である留萌市立総合病院の医療体制・施設の整備・充実に努め、広域医療体制の確立を促進します。

○年金

高齢社会に対応した年金制度は、長期展望をもって運営に努め、制度の充実改善に努力し、老後における経済基盤の確保をはかります。

○国民健康保険

国民健康保険加入者の高齢化と医療技術の高度化により医療費は年々増加の傾向にあります。医療費の適正化に努め、保健施設事業の推進と在宅介護支援体制の充実を図ります。

(2)希望と生きがいの福祉づくり

○地域福祉

市民の価値観、ライフスタイルの変化から、病弱者の在宅志向や自立意識が高まり、福祉に対する要望は広範囲にわたっています。ノーマライゼーションの理念に基づく福祉社会への理解を深め、だれもが参加し支えあう福祉のまちづくりを新しい時代の主要なテーマとして受けとめ推進しなければなりません。

○高齢者福祉

高齢者が健康で生きがいをもち、安心してすごせるような、明るい活力のある社会を目指すために、高齢者の能力を社会に活用しながら、生活の安定・向上、健康の増進、生きがい対策を進めます。

○障害者福祉

障害者が自立し、安心して地域で生活できる社会の実現をめざすために、在宅福祉サービスはもちろんのこと住宅対策など生活支援の充実や施設福祉を推進します。

また、市民の障害者に対する正しい理解と認識を深め、障害者が心豊かで充実した生活を送ることができるようやさしいまちづくりにも配慮した就業と社会参加の促進を図ります。

○児童福祉

児童福祉施設の充実に努め、保育児童数の推移と保育需要を考え家庭、幼稚園と連携し、保育所を地域の子育てネットワークの中核的な施設と位置付け、民間団体などとの協力で、その条件整備と適正配置を図ります。

○一人親家庭福祉

社会的・経済的・精神的に不安定な状況におかれている一人親家庭に対しては、経済的自立と育児・家事・教育などの生活安定向上のため、相談・指導体制の充実、就業対策などの援護施策の推進が必要となります。

○低所得者福祉

社会的、経済的な自立の促進を図るために、生活相談体制や援護施策の充実に努めます。

○ボランテイア活動

高齢化・小子化・核家族化等により地域、家族の絆が薄れているといわれています。

ボランティア活動による地域住民の連帯と自主参加によって、互いに支えあう地域社会の形成を推進しなければなりません。職場・地域・団体活動内での自主的・積極的な参加や行政と市民間の一層の連携が求められています。

ボランティア活動は、住みやすい地域の形成と愛着の持てるまちづくりの原動力といえます。

心身を醸成する「学習都市」をつくるために ―生涯学習計画―

(1)未来を切り拓く生涯学習

○生涯学習

人生80年時代の到来と余暇時間の増大、さらには最近の急激な社会変化の中で、生涯学習に対する社会的要請が高まっています。学習条件の整備と推進体制の確立を図ります。

(2)郷土愛を培う学校教育の推進

○幼児教育

人格形成の基礎として重要な役割を果たす幼児教育については、将来的展望にたって進め、幼稚園、保育所、家庭がそれぞれのもつ教育機能を充実させ、家庭における環境づくりを促進しなければなりません。

○義務教育

教育現場での内容の充実、教職員研修の充実などにより力量の向上に努めます。また、児童・生徒数の動向を考え、教育環境などの